

コスト削減効果を実証

ヨロズ物流「チャオヤンタイヤ」

(株)ヨロズ物流（大阪府富田林市）はこのほど、CHAOYANG（チャオヤン）ブランドのトラック・バス用タイヤを使用するユーザーの声を公開した。同社は昨年から中国の大手タイヤメーカー、ZCラバーと業務提携して国内市場向けにトラック・バス用タイヤの展開を行っている。

850台以上のトラックを保有する(株)啓和運輸（埼玉県入間市）は昨年5月に地場と中長距離の車

両各1台のタイヤを国内メーカーからチャオヤンに履き替えた。12月までの7カ月間、燃費データを取集したところ、従来装着していたタイヤと比較して約4%の燃費向上が確認できたという。

この結果を受けて、スツッドレスタイヤからサマータイヤの履き替え時期に、サマータイヤはチャオヤンタイヤを本格導入する方針だ。

同社の片桐淳一常務取締役は「今の段階ではチャオヤンは良いことばかり。当社の保有台数のうち、15トン車は345台ほどあるが、数年以内に200台ほどはチャオヤンに変更する可能性がある」と話す。

さらに「6トン車72台、5トン車128台、4トン車150台、3トン車81台、2トン車66台を保有しており、タイヤのサイズバリエーションが増えれば、採用する車両は一層拡大するだろう」と今後に期待を寄せる。

また、和歌山県橋本市にある運送会社、(株)サザンは4軸低床車でテストを実施。国内ブランドのタイヤと同等の性能を確認したことから、今年3月に4軸低床車用に460本のチャオヤンタイヤを導入した。従来採用していたタイヤとの差額は1本あたり約1万3400円で、3シーズン使用すると想定して年間約200万円のコストダウンが実現できると見込んでいる。



ヨロズ物流では「タイヤ各社が最大10%の値上げを行っているほか、燃料が高騰して運送会社の利益が圧迫される中、チャオヤンでコスト削減が図れる」とそのメリットを説明している。